

特集  
伝統を受け継ぐ子どもたち

## 伝統を受け継ぐ子どもたち

- 町の掲示板 ..... 2
- 町の話題 ..... 10
- 食を育てる ..... 11
- カルチャー ..... 12
- 町の情報ひろば ..... 14

特集 伝統を受け継ぐ  
子どもたち

●編集・発行／上毛町役場企画情報課  
〒871-0992  
TEL 0979-(72)31-11  
FAX 0979-(72)4664

●印刷／築上印刷(有)  
(築上東中学校2年)

人の動き  
3月31日現在

- 人口 8,200  
(-13)
- 男性 3,903  
(-1)
- 女性 4,297  
(-12)
- 世帯数 3,102  
(±0)

ごみの量  
3月31日現在

- 可燃ごみ 128.49t  
(+21.13t)
- カン・ペットボトル 2.27t  
(-0.64t)
- びん 2.92t  
(-1.01t)
- 古紙他 10.66t  
(-6.71t)
- 可燃粗大 2.07t  
(+0.20t)
- 不燃 6.23t  
(-1.26t)
- プラスチック製容器包装 1.82t  
(-0.17t)
- 紙パック、白色トレイ 0.09t  
(+0.02t)

【成恒神楽保存会】  
指導者 上川豊秋さん(成恒)

岩井 大樹くん  
(南吉富小6年)

「激しくてカッコイイ成恒神楽が大好きです。今年は新しい演目を覚えて、もっと上手になってたくさんの人に見てもらいたいです。」

田中 勢也くん  
(南吉富小4年)

「成恒神楽は、面白い人ばかりで楽しいです。新しい舞をどんどん覚えていきたいです。」

小森 遼さん  
(築上東中学校2年)

「地域の伝統である神楽を、今後も続けていきたいです。」

伝統を受け継ぐ子どもたち

神楽の伝統を受け継ぎ次代を担う子どもたちを紹介します

私が子どもの頃、祭りと言えば神楽で、年に一度の楽しみでした。あの「ホヤドン」のように舞いだい、あの鬼のようになりたいと、今西講長の下、がむしゃらに練習してきました。おかげさまで今は、指導までさせていただけたようになりました。この素晴らしい神楽を次代へ伝える事が私の使命であり、先人の恩返しだと思っていました。子どもたちは生懸命練習しています。私たちも全力で指導しています。興味のある方はぜひ練習へ遊びに来てください。」

【唐原神楽講】  
指導者 宮本雄一さん(下唐原)

筒井 雄太くん  
(南吉富小5年)

「神楽と野球が好きで頑張っています。いっぱい神楽や野球の練習をして、いっぱい出れるようになりました。」

北殿 斗和くん  
(八千代保育園 年中組)

「お神楽が大好きです。おじいちゃんみたいにかっこよく舞えるようになります。」



「元気いっぱいの子どもたちと毎週金曜日19時から約2時間、練習を重ねています。上毛町の伝統文化である神楽を次の世代に残せるよう、微力ではありますが、頑張っています。神楽に興味がある人はぜひ仙代集会所に見学に来てください。」

【友枝子供神楽講】  
指導者 大石正芳さん(西友枝)

中野 畏仁くん  
(反枝小5年)

「神楽と野球が好きで頑張っています。神迎ができるようになります。いっぱい神楽や試合に出たいです。神迎の練習を頑張っています。」

原岡 和星くん  
(反枝小4年)

「神楽と野球が好きです。いっぱい神楽や試合に出たいです。神迎の練習を頑張っています。」

松江 一陽くん  
(南吉富小2年)

「神楽が好きです。今年の吉岡のお祭りに出られるよう、頑張っています。」

大石 己咲くん  
(反枝小2年)

「神楽を頑張っています。今、鬼の練習をしています。頑張るぞ!」



## 5月の表紙

表紙の写真は「松尾山お田植祭」です。

まつえ  
4月18日(日)、西友枝松尾山で天下泰平と五穀豊穣を祈る松会行事のひとつである「お田植祭」が行われ、約350人の見物客で賑わいました。西友枝小学校は今年3月で閉校し、今は友枝小学校に統合されています。この日は、旧西友枝小学校の子ども12名で踊る最後の舞台。「田打ち」「田草取り」の所作を披露しました。今後は、友枝小学校の子どもたちと一緒に松尾山の歴史や踊りを学び、伝統を受け継いでいくことになります。また、今年は、松本二三年さん(東上)から獅子頭の奉納がありました。これは、松本さんが「松会全体の復元に取り組んでいる保存会のみなさんのお手伝いができるのか」という気持ちひとつで夜も寝ずに完成させたという作品です。来年の春には獅子舞が披露される予定です。豊かな自然と歴史が人を惹きつける松尾山。保存会の方は「単にお祭りを見るだけではなく、そこにある文化や歴史、そして素晴らしい自然景観等を見て感じてほしい」と話してくれました。

この松尾山のお田植祭が、保存会の方々をはじめ多くの人たちに支えられ、大切に守り受け継がれています。来年の春もまた楽しめます。

こんなにちは、4月から広報担当になりました企画情報課の森重です。

編集係

今年3月までの2年間は、福岡県庁に人事交流職員として派遣され、主に広域的な地域振興について学ばせていただきました。上毛町に戻ってすぐは戸惑いもありましたが、広報という仕事を通して、地域の方々とふれあう機会に恵まれたことが、個人的にはとても良かったです。ありがとうございました。緑豊かな自然、きれいな水と土に育まれたおいしい食べ物、そして歴史や伝統文化が大切に守られている上毛町。この町の魅力を、まずは自分自身がたくさん勉強して、みなさんの「誇り」を発信できるようになりたいと思っています。よろしくお願いします。